

# 大成ロテ 再生砕石で都の認証 需要対応へ設備整備

大成ロテックの城南島リサイクルセンター（東京都大田区）が、東京都環境局・東京都環境公社などが推進する再生砕石利用拡大支援制度に対応した再生砕石「東京ブランド」製の「えこ石」の施設認定を取得した。同制度は、民間団体などが定める高品質な再生砕石の品質基準を環境局で審査して「基準認証」を与え、認証基準に沿った再生砕

石を製造できる施設に「施設認証」を与えるもの。道路会社での取得は同社が初となる。同社は東京青海合材工場と今回認証を受けた城南島リサイクルセンターで年間約50万トのコンクリートがれき類をリサイクルし、都内に路盤材や再生合材などのリサイクル材を供給している。都内で発生するコンクリートがれき類は年間700万ト

800万トとされる。今後、都内においては老朽化したコンクリート構造物の更新が多々見込まれているため、より一層再生砕石を利用できる環境の整備が必要となる。そのため、城南島リサイクルセン

拡大につながるものと確信している」と語った。都内工場を統括する宮本榮二南関東支社製品事業部長は、「えこ石を安定供給できる体制を整え、よりよい環境づくりを推進していく」と意気込みを述べた。



認定証を受け取った  
宮本製品事業部長

ターの設備を整え、認定品の路盤材やグラベルコンパクション材、裏込め材を製造できるようにした。

認定取得について、同センターの永盛達也工場長は「今後の再生砕石の利用